

平成27年 9 月28 日

日本看護技術学会第14回学術集会
キーセッション担当者 御中
交流セッション担当者 御中
特別セミナー担当者 御中
卒業研究交流セッション担当者 御中

日本看護技術学会編集委員会
委員長 深井 喜代子

日本看護技術学会誌（第15巻第1号）の原稿執筆依頼について

初秋の候、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、日本看護技術学会編集委員会では日本看護技術学会誌（第15巻第1号；平成28年4月発行予定）に、第14回学術集会でのご講演を掲載（再掲）し、学術集会に参加できなかった方々にもその講演内容を報告したいと考えております。お忙しいところ、大変恐縮ではありますが、下記の要領で原稿執筆をお願い申し上げます。

キーセッションでは各演者の先生方に1編ずつ、それ以外のセッションでは1セッションにつき1編ずつお願いいたします。お名前あるいはセッションの後にある（ ）内の数字が学会誌の刷り上りページになります。1ページあたり約2,000字を目安にお願いいたします〔(1):約2,000字、(2):約4,000字〕。また、図表は1枚につき400字（原稿用紙1枚）として計算してください。また、図表をカラーにする場合には実費を請求させていただきます。

なお、文面につきましては、新たに書き改めることはせず、予稿集と同じでよいお考えの方もおられると思いますので、その際は、上記の文字数（枚数）は無視し、「予稿集用に提出した原稿のまま」と、お知らせいただければ結構です。

■キーセッション

キーセッションⅠ 「言葉で伝える看護の技」(2) (要・英文タイトル)
佐伯 由香先生 (2)

キーセッションⅡ 「言葉と模型で伝える看護の技—看護技術教育のエビデンスを探る—」(2)
(要・英文タイトル)
小川 鑛一先生 (2)

キーセッションⅢ (2) (要・英文タイトル)
「病臥の正岡子規と日常の「写生」について—病人の自己救済について考える—」
青木 亮人先生 (1)
「女性の出番—伝統文化にしなやかな感性を重ねて—」
山田 ひろみ先生 (1)

キーセッションⅣ 「語りを紡ぐ俳句の力」(2) (要・英文タイトル)
秋川 雅与先生 (2)

キーセッションⅤ 「温もりのある看護、それは共創から」(2) (要・英文タイトル)
田淵 典子先生 (2)

■交流セッション

交流セッションⅠ 「気持ちよさをもたらす看護ケア理論の開発に向けて」(2) (要・英文タイトル)

縄 秀志先生 (2)

交流セッションⅡ 「移動動作ガイドラインに基づく道具を使用した安全安楽な方法の検討」(2) (要・英文タイトル)

西田 直子先生 (2)

交流セッションⅢ 「痛みのケアの確立を目指して(その11)ー疼痛ケア技術を社会と共同して開発する(3)」(2) (要・英文タイトル)

深井 喜代子先生 (2)

交流セッションⅣ 「セルフケア能力を高める支援における看護の技の検討ー看護師のモチベーションを高める方略ー」(2) (要・英文タイトル)

酒井 礼子先生 (2)

交流セッションⅤ 「グリセリン浣腸の現状について改めて考えるー特に在宅での実施状況についてー」(2) (要・英文タイトル)

武田 利明先生 (2)

交流セッションⅥ 「リンパ浮腫ケアの新たなステージー確かな実践にむけてー」(2) (要・英文タイトル)

藤本 悦子先生 (2)

交流セッションⅦ 「論文投稿のA to Z(その4)日本看護技術学会誌の役割と課題」(2) (要・英文タイトル)

深井 喜代子先生 (2)

交流セッションⅧ 「口から食べることを支える摂食・嚥下ケアの教授・学習活動の提案」(2) (要・英文タイトル)

水戸 優子先生 (2)

交流セッションⅨ 「便秘症状の緩和のための温罨法Q&AーVer.2作成への取りくみー」(2) (要・英文タイトル)

塚越 みどり先生 (2)

交流セッションⅩ 「副交感神経活動リザーブを高める看護技術の確立ー有疾患患者における検討」(2) (要・英文タイトル)

金子 健太郎先生 (2)

交流セッションⅩⅠ 「言葉にならない看護の技が伝わるための仕組みづくりー患者中心型デザインワークショップ手法を用いてー」(2) (要・英文タイトル)

西山 里利先生 (2)

■特別セミナー

特別セミナーⅠ 「経耳道光照射による睡眠障害・抑うつ気分の改善効果の検討」(2) (要・英文タイトル)

谷川 武先生 (2)

特別セミナーⅡ 「ローリング療法の概要:揉むのでもなく、押すのでもなく、ローリングするという療法について」(2) (要・英文タイトル)

村重 ひかり先生 (2)

■卒業研究交流セッション（研究活動推進委員会）（2）

田中 美智子先生（2）

※このセッションは田中先生に一括執筆をご依頼します。

執筆要項

- 1) 原稿は、Windows をご使用いただき MS WORD で保存し、電子メールで日本看護技術学会第14回学術集会長宛(下記参照)にお送りください。
※予稿集と同じ文面の場合はその旨、同宛先にメールでご返信ください。
(その際は、大会長おかれましては、予稿集原稿を印刷会社宛お送りください)
- 2) A4版の用紙1枚1,000字程度（1行の字数を35字、行数を28行で設定）で、図・表を含んで指定されました字数を目安に作成をお願い致します。
- 3) キーセッションと交流セッション及び特別セミナーでは、和文タイトルのほかに英文タイトルの記述もお願い致します。
- 4) お忙しいところ申し訳ございませんが、原稿は平成27年12月25日（金）までに第14回学術集会長宛 yukas@m.ehime-u.ac.jpにお送りいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

原稿送付先：愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻
日本看護技術学会第14回学術集会長
佐伯 由香 先生
〒791-0295 愛媛県東温市志津川
愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻
TEL：089-960-5404
e-mail：yukas@m.ehime-u.ac.jp

お問合せ先：日本看護技術学会編集委員会 深井 喜代子
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1
岡山大学大学院保健学研究科
TEL & FAX：086-235-6855
e-mail：scully@cc.okayama-u.ac.jp

なお、この文面と同じ内容は、以下のURLからダウンロードできます。

日本看護技術学会本部（東京）<http://www.jsnas.jp/>

日本看護技術学会第14回学術集会本部（松山）<http://www.med-gakkai.org/jsnas-14/>